

超高齢者(90歳以上)の総胆管結石に対する ERCP の有用性・安全性についての後ろ向き検討に関する研究

1. 研究の対象

2012.4月～2018年3月までに総胆管結石症に対して ERCP を行い、乳頭切開術もしくは乳頭バルーン拡張術を行った初回乳頭例の全患者を対象とする。

2. 研究目的・方法

目的：超高齢者(90歳以上)の総胆管結石に対する ERCP の有用性・安全性を明らかにすること。

方法：超高齢者群と超高齢者以外の2群に分け、ERCPの有効性(完全切石率)・安全性(合併症リスク)を比較検討する。完全切石率は2群での単変量解析、合併症リスクについてはリスク因子(年齢、性別、胆管挿管の方法や時間、傍乳頭憩室の有無、膵管誤造影、胆管径、乳頭処置の方法、予防的膵管ステントの有無、予防投薬の有無、術者の経験年数など)を単変量、多変量解析で検討。最終的には合併症発生に関わる交絡因子を調整するため、propensity score解析を行う。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、合併症等の発生状況等

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

済生会熊本病院 消化器内科 門野義弘
熊本中央病院 消化器内科 齊藤宏和
熊本市市民病院 消化器内科 多田修治

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒861-4193 熊本市南区近見5丁目3番1号 電話 096-351-8000(代表)

研究責任者：済生会熊本病院 消化器内科 門野義弘

研究代表者：済生会熊本病院 消化器内科 門野義弘

以上